

基本情報



【年齢】
31歳
【出身地】
神奈川県相模原市
【転出元】
埼玉県加須市
【前職】
個人事業主
【活動時期】
R3.8～

協力隊に応募したきっかけ

東京では土地の面積に制限があり、なかなか巨大な作品を制作することができない。一方海外では巨大な作品が数多く存在し尚且つパブリックなスペースに設置することができる条例が定められている地域も多い。今回のプロジェクトでは作品そのもののサイズやコンセプトのスケール感も大きなものを制作・設置し、海外でも活動できるアーティストであることを証明するためのプレゼンテーションの場にする。

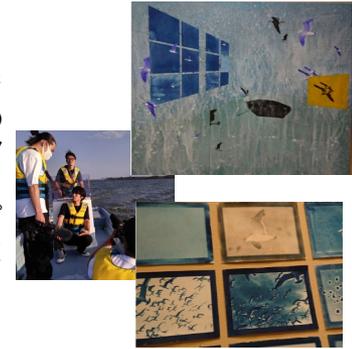
今後の抱負・任期後の目標

世界の事例を見ても明らかのように地方創生には芸術が流用される。町民の人たちへの対面的なコミュニケーションも勿論だが、キュレーターのニコラ・プリオーが提唱した「関係性の美学」を検証しながら、地域に対するコミュニケートにうまく機能する芸術活動を行う。芸術は社会や地域に還元され文化の土壌になることが役割だと思っているので、地域の方々やプロジェクトメンバーと共に協力し合って新しい文化都市をつくっていきたい。

活動内容

●地域のリサーチと関連作品の制作

鳥の海地区にある特徴的な浮島「蛭塚」の感染症対策で使われた歴史的背景や地理的特徴等をリサーチ。町民の記憶やイメージを寓話化し、シルクスクリーンやサイアノタイプを用いたアート作品制作を実施。町の郷土資料館での企画展にて展示し、町内外の方へプロジェクトの取り組みだけでなく、地域の文化や歴史についての情報発信も行っている。今後は蛭塚内部にアート作品を設置できるか計画中。



●アートを通じたにぎわい創出

空き家を活用した期間限定のアトリエを設置。制作を行いながら子供達など地域住民や域外からのアートファンなどが気軽に立ち寄れる場所をつくり、荒浜・鳥の海地区以外でのにぎわい創出に取り組んだ。また、自身の作品をベースにしたワークショップを行い、町民がプロジェクトやアートに気軽に触れられる機会を創出した。



●アート以外での地域交流活動

亘理高校美術部への訪問や課外活動に参加。また、中学校での出張授業等にも参加し、地元の子供達との交流やキャリア形成にも積極的に取り組んでいる。その他、地域イベントへの参加やプロジェクト全体の運営等にも関わり、アート以外でのまちづくりや情報発信にも広く取り組んでいる。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
WATARI TRIPLE C PROJECT
(メールアドレス) triplec@onetable.jp (電話番号) 0223-33-2070

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(プロジェクト公式Instagram) <https://www.instagram.com/triplecproject/>